

専門科目 産業環境保健学

(専門職学位課程)

科目名	産業精神保健学演習	code number : OEH 366	選択	1 単位
-----	-----------	--------------------------	----	------

科目責任者	渋谷 克彦 講師						
配当年次	1・2年次	配当学期	夏期	曜日・時限	2日間	授業方法	講義・演習

1. 授業の概要

わが国の産業構造が変化した結果、精神的な緊張を伴う業務に従事するものが増えるなど就業の中身も変化し、過重労働による健康障害、特に精神障害の労災認定申請者数は大幅に増加している。本授業では、職場のメンタルヘルス対策として、ストレスチェック等の国の勤める対策ならびに産業ストレスに関する理論を理解したうえで、「職場ドック」等の1次予防、2次予防、復職支援等の3次予防の具体的な方法論を学ぶ。これらを通じて、個々の職場におけるメンタルヘルス対策を進めるための知識、技術、コンピテンシーを習得する。

2. 授業の到達目標

【一般目標(GIO)】

1.1次予防から3次予防まで、職場においてメンタルヘルス対策が効果的に実践できる知識と能力を習得する。

【行動目標(SBO)】

- 1.職場におけるメンタルヘルスの重要性、メンタルヘルス対策の動向、職場におけるメンタルヘルスの進め方について説明できる。
- 2.職業ストレスに関連した理論やモデルとその現場への応用について説明できる。
- 3.職場のメンタルヘルス対策に対する組織、関係者の役割と連携について説明でき、実際の現場に応用できる。
- 4.職場のメンタルヘルスの1次予防、2次予防、3次予防の方法を説明でき、実際の現場に応用できる。
- 5.ストレスチェック制度を説明し、ストレスチェック後のフォローなどの実務を運用できる。
- 6.具体的な職場を対象に、メンタルヘルス対策の計画・事業の立案ができる。

3. 成績評価の方法および基準

(1) 演習の課題・レポート(50%)

(2) 講義やグループワークでの積極的な発言や参加 (50%)

注意) 課題、レポートを再提出または期限に遅れて提出の場合は減点の対象とする。

4. 教科書・テキスト

・原則として講義資料を使用する。

5. 参考書

・中央災害防止協会. 労働衛生のしおり

6. 事前事後学修の内容およびそれに必要な時間

- ・関連する事業場等のメンタルヘルス対策について事前に調べておくこと。
- ・当該期間に15時間以上の予復習が必要。

7. その他履修上の注意事項

- ・試験やレポートに対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。
- ・この科目と学位授与方針との関連をカリキュラムマップを参照し理解すること。

<授業計画>

産業精神保健学演習

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	8/25(水)	1	福田 吉治 教授 渋谷 克彦 講師	職場のメンタルヘルス対策の現状と国の取組 産業ストレスの理論と応用
2	8/25(水)	2	磨田百合子 講師(非)	職場のメンタルヘルス対策における医療専門職の役割／復職支援の 実際
3	8/25(水)	3	高辻由布子 講師(非)	過労死、メンタルヘルス不調者等に関連した訴訟および対処方法
4	8/25(水)	4	磨田百合子 講師(非) 高辻由布子 講師(非)	復職支援等の演習:グループワーク、発表、質疑
5	9/1(水)	1	渋谷 克彦 講師	職場のメンタルヘルス対策における精神疾患の基本 ストレスチェックと過重労働対策の実際
6	9/1(水)	2	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの解説・実施方法
7	9/1(水)	3	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの適用演習1:グループワーク
8	9/1(水)	4	吉川 悦子 講師(非) 竹内由利子 講師(非)	職場ドックの適用演習2:グループワークのまとめ、発表、質疑